

---

# 悪魔が降りるそのときまで

極楽天

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

悪魔が降りるそのときまで

### 【Nコード】

N9615A

### 【作者名】

極楽天

### 【あらすじ】

辺りが急に明るくなり、視界が真っ白になる。もうこんな時間か。自由に移動することもできない四角いゲージの中で、諦めにも似た感情が、どっと襲ってくる。

辺りが急に明るくなり、視界が真っ白になる。  
もうこんな時間か。

自由に移動することもできない四角いゲージの中で、諦めにも似た感情が、どつと襲ってくる。

このままずっとここにいるのと、無理やり外に引きずり出されるのでは、どちらがマシだろう。

ぼんやりと考えてはみるが、その選択肢は自分では選ぶことはできない。

どっちを選んだとしても、幸せではない。

それだけが確かなことだ。

周りの皆は、とつくに感情を失っている。

こんなところに長い間入れられていれば、当たり前のことだが、辺りがざわつく。

気配を感じ、上を見上げる。

来た。

悪魔の手が視界の隅に映る。

いつものことだが、緊張が走る。

手は、なめ回すように旋回し、標的を決めると、圧倒的な恐怖を伴って降りてくる。

幸い、おれの場所からは遠い。

今回は捕まることなく済みそうだ。

捕まったやつには悪いが、おれにとってはラッキーだった。

などと、ホッとしている間もなく、今度はちょうどおれの真前で、手が止まった。

どうやら来るときが来たようだ。

覚悟を決める。

その覚悟を見取ったように、手は下りてくる。

どんどん、どんどん。  
ゆっくりと。

無機質な冷たい爪が頭を掴む。  
そこに慈悲や温かさは感じられない。

がっちりとした側頭部を固定され、持ち上げられる。

頭が引っこ抜かれそう。

おれの身体は慎重に持ち上げられ、やつらの巣らしき穴へ、運ばれていく。

もはやここまでか。

そう諦めた瞬間、爪の力が緩んだ。

何が起こったか分からなかったが、今いるところが巣ではないということとは間違いない。

仲間の頭の上に落ちたのだ。

やつも油断したのかもしれない。

仲間たちは、おれの帰還を喜んでくれているようだ。

さっきまでは、どうでもいいやと思っていたおれも、助かったと分かるとうれしかった。

しかし、全てが終わったわけではないのだ。

悪魔の爪は、再びおれの頭を掴むだろう。

せめてそのときが、少しでも遅くなるように、信じてもない神に祈った。

「お前、本当に人形とるの下手だね」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9615a/>

---

悪魔が降りるそのときまで

2010年10月15日02時43分発行